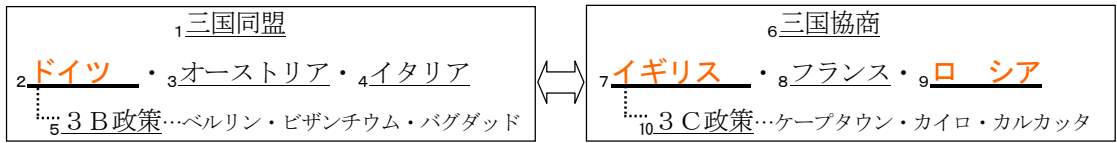


世界大戦と日本の参戦



11 サラエボ事件が契機 → 12 第一次世界大戦勃発 (1914~18) …主戦場はヨーロッパ

<日本> 首相 13 大隈重信 ・ 外相 14 加藤高明 ら参戦を決定

※井上馨の大戦参加論「今回欧州ノ大禍乱ハ、日本国運ノ発展ニ対スル大正新時代ノ天祐」

理由 名目 15 日英同盟 (イギリスと合意に達しないまま)

真意 東洋の 16 ドイツ勢力 の一掃と 17 中国大陸 への勢力拡張…

→ドイツと開戦 (1914. 8/23) 陸軍: 18 山東省 (半島) の 19 青島 (ドイツ租借地)

海軍: 20 赤道以北の南洋諸島 (ドイツ領)

<大戦の経過> 戦車・飛行機・毒ガスなどの使用 21 総力戦 (経済・文化も含めた国家の総力を動員)

当初はドイツ側優勢 (ブルガリアやトルコを味方に) → イタリアが連合国側へ (1915)

→ドイツの 22 無制限潜水艦作戦 → アメリカが連合国へ参戦 → ドイツ国内で革命、降伏 (1918-11)

日本の中国侵略 ←欧米はアジア問題に介入の余力なし

23 1915. 24 二十一箇条要求 → 中華民国政府 (大総統 25 袁世凱) へ

(1) 25 山東半島のドイツ利権の継承

(2) 南満州・東部内蒙古の権益の強化 <例> 26 旅順・大連租借と満鉄権益の9年延長

(3) 27 漢冶萍公司 の日中共同経営

… 漢陽製鉄所、大冶鉄山、萍郷炭坑を一体化した (中国の) 製鉄会社

(4) 沿岸の島嶼の不割譲、福建省の他国不割譲の確認

(5) 日本人の政治・財政・軍事顧問の設置、日本からの兵器供給 等々

→ 5/7 (欧米から批判された第5号をのぞいて) 最後通牒を発する → 5/9 中国受諾

中国は5月9日を 28 国恥記念日 とし、排日運動が激化

※その後の動き

対ロシア: 29 第4次日露協約 (1916) …極東における権益確認

対アメリカ: 30 石井・ランシング協定 (1917) ※アメリカの大戦参加に対応

31 石井菊次郎 (日本特派大使) と米国国務長官 32 ランシング

日本の中国における特殊権益と (今後の) 中国の門戸解放を相互に承認

対中国: 33 西原借款 (1917~18) … 34 段祺瑞 に巨額 (1億4500万円) の借款

… 軍閥。袁世凱没後に実権

35 西原亀三 (寺内首相側近) を派遣 日本の影響力拡大をねらう

ロシア革命と列強

³⁶ロシア革命勃発(1917) …³⁷プロレタリア(無産労働者)革命→³⁸世界初の共産主義国家の誕生

経緯 ³⁹三月革命…首都ペトログラードでの民衆のストライキ→武装蜂起→帝政を倒す

⁴⁰十一月革命…⁴¹レーニンの指導で⁴²ソビエト政権を樹立 ※ロシア暦では二月革命・十月革命

☆1919. 国際共産党(⁴⁵コミンテルン)結成…各国の共産主義者が集まる

新政権…「⁴⁶平和に関する布告」(無補償・無併合・民族自決と即時停戦を主張)を諸外国へ提唱

→ドイツ・オーストリアと単独講和(1918. ブレスト-リトフスク条約)

過去の(ロシア帝国の)秘密条約を公表 →他国の反発を呼ぶ

→⁴⁷シベリア出兵 (1918～22)…アメリカが提唱 日本は、米・英・仏と共に参加

理由 名目 ウラジオストク市(シベリア)の⁴⁸チェコスロバキア兵(もとロシアの捕虜)の援助

真意 ⁴⁹共産主義が自国に及ぶことの阻止と⁵⁰シベリア方面への勢力拡大

☆日本は、⁵¹欧米列強諸国の撤兵(1920)後も駐留を継続・範囲を拡大 (最高時で7万2千人)

→戦費10億円と3500人の死者、欧米諸国の非難 →1922. 撤兵

☆⁵²尼港 事件(1920)…ニコライエフスク(尼港)でソ連軍とパルチザン(非正規兵)が、日本人捕虜・民間人を虐殺→日本はこれを理由に北樺太を占領(~1925)

☆1925. ⁵³日ソ基本条約 により、ソビエトとの間に国交樹立

【正誤問題に挑戦】<1991年追試験、1999年A追試験より>

(1) 二十一か条の要求は、欧米諸列強が東アジアをかえりみる余裕がないのを好機として、寺内正毅内閣が段祺瑞政府に提出したものである。

(2) 中国産の石炭・鉄鉱石の利用を目的に、日中共同出資で鞍山製鉄所が建設された。。